## 1 compton

コンプトン散乱について。

## 11 四元運動量

四元運動量を以下のように定義する。

$$p = m\vec{U} = (E/c, p_x, p_y, p_z) \tag{1}$$

$$|p|^2 = \frac{E^2}{c^2} - |\vec{p}|^2 \tag{2}$$

$$|p|^2 = m^2 |\vec{U}|^2 = m^2 c^2 \tag{3}$$

$$\frac{E^2}{c^2} = m^2 c^2 + |\vec{p}|^2 \tag{4}$$

$$\frac{E}{c} = mc\sqrt{1 + \frac{|\vec{p}|}{m^2c^2}}\tag{5}$$

$$E = mc^2 + \frac{|\vec{p}|^2}{2m} \tag{6}$$

(7)

ここで、 $\vec{U}$  は MCRF であるので、瞬間的共動慣性系ではその成分は (c,0,0,0) であることをつかった。 余談だが、MCRF から我々が見ている系への変換は、粒子が速度 v で動いていたとしたら-v のローレンツ変換を行えば良い。

## 1.2 compton

コンプトン散乱の四元運動量保存則から、

$$(E/c, \vec{p}) + (mc, 0) = (E', p') + (E^e, p'_e)$$
(8)

$$(E/c, \vec{p}) - (E'/c, p') + (mc, 0) = (E^e, p'_e)$$
(9)

$$\frac{EE'}{c^2} - |\vec{p}||\vec{p'}|\cos\theta + mE - mE' + m^2c^2 = m^2c^2$$
(10)

$$E'(m + \frac{E(1 - \cos\theta)}{c^2}) = mE \tag{11}$$

$$E' = \frac{E}{1 + \frac{E(1 - \cos\theta)}{mc^2}} \tag{12}$$

$$\lambda' = \lambda + hc(\frac{1 - \cos\theta}{mc^2}) \tag{13}$$

$$\lambda' = \lambda + \frac{h}{mc}(1 - \cos\theta) \tag{14}$$

 $\frac{h}{mc}$  はコンプトン波長と呼ばれる。

## 1.3 反跳電子のエネルギー

コンプトン散乱によって電子が得たエネルギーは、ガンマ線が失ったエネルギーに等しい。またそのエネルギーは電子の運動エネルギーに等しいので、電子の運動エネルギーT:

$$T = E - E' \tag{15}$$

$$=\frac{\frac{E(1-\cos\theta)}{mc^2}}{1+\frac{E(1-\cos\theta)}{mc^2}}\tag{16}$$

$$= \frac{E(1 - \cos\theta)}{mc^2 + E(1 - \cos\theta)} \tag{17}$$